

住宅金融支援機構記号別断熱材の種類
Cグループ「ビーズ法ポリスチレンフォーム」

フクビ 屋根断熱材

フクフォームルーフ

●フクフォームルーフ本体

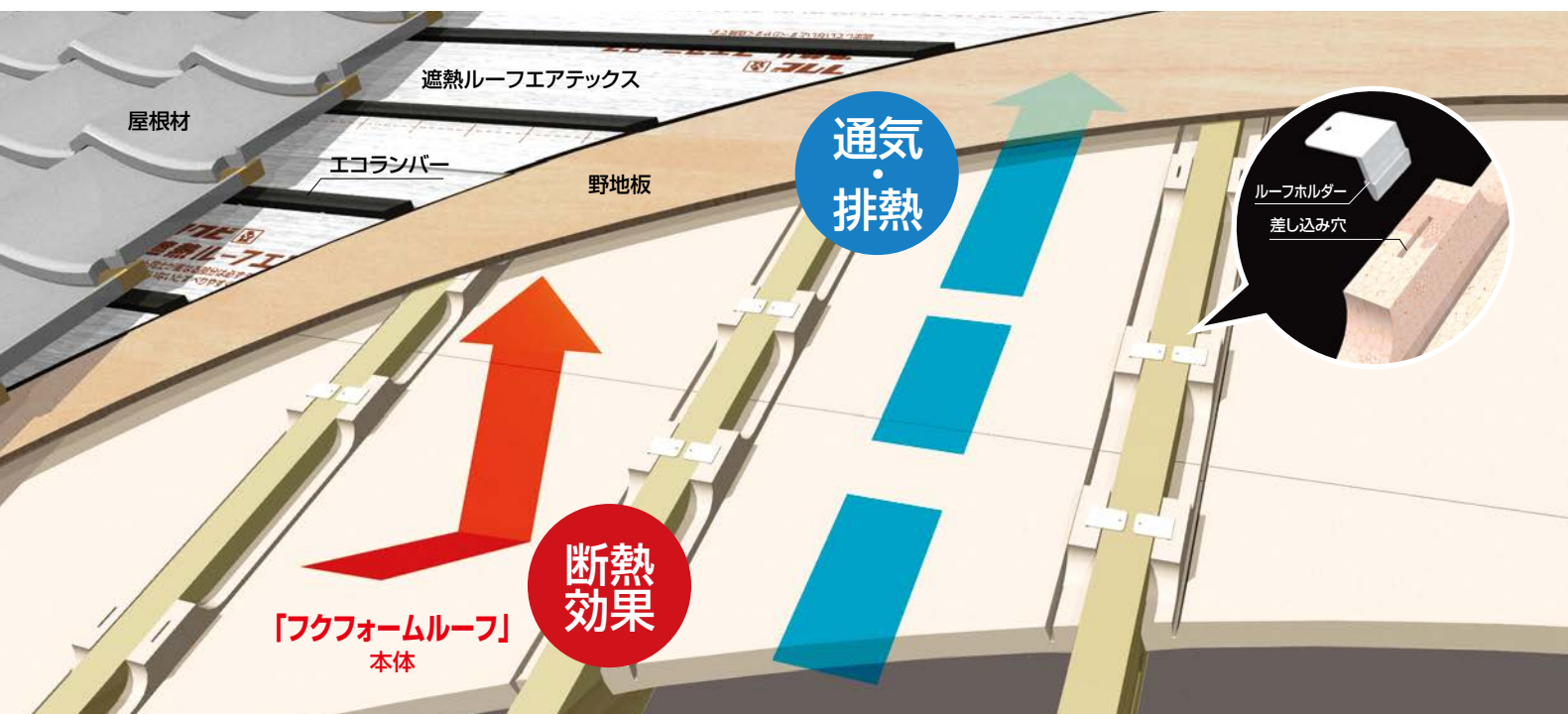
充填と同時に通気層を確保できる、屋根用断熱材。

フクフォームルーフ

屋根断熱材

住宅金融支援機構記号別断熱材の種類
Cグループ「ビーズ法ポリスチレンフォーム」

充填と同時に通気層を確保できる、独自のフォーム。



ピッタリ施工

- スリットの絶妙なアジャスト効果で隙間なくピッタリ納まります。
- 合いじゃくりのジョイントが製品同士を密着させます。

カット不要

- 1つの型で、「43～45mm巾の垂木間」と「38mm巾の垂木間」にカットなしで対応できます。

優れた断熱性能、熱伝導率 0.040W/m・K

- フクフォームの材料は、すべて「ビーズ法ポリスチレンフォーム」を使用しています。
(住宅金融支援機構の断熱材の種類ではCグループに属します。)

水をよせつけません。

- 優れた撥水性が内部結露を防ぎ、断熱効果を持続させます。

ノンフロン製造

- 製造上、フロンガスは使用していません。

自己消火性

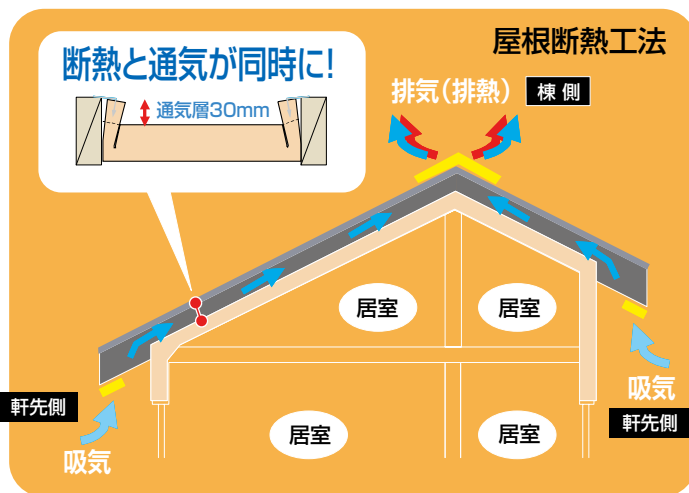
- フクフォームは、炎を遠ざけると自然に消える素材を使用しています。(JIS A9521 適合)

少ないガス発生量

- 昭和51年建設省告示第1231号第4に規定するガス有毒性試験に合格しています。

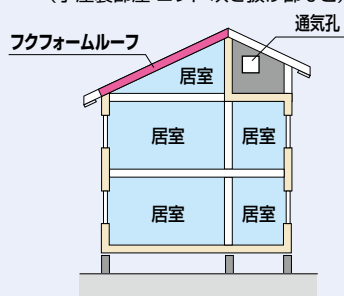
充填と同時に通気層確保

- 垂木間に充填すると同時に、屋根断熱に必要な通気層(30mm)を確保できます。

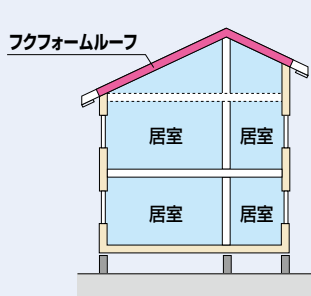


■フクフォームルーフの用途

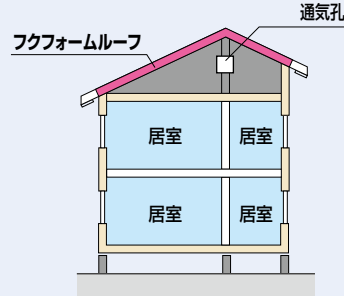
- ①小屋裏部屋等が屋根に面している、その屋根面にフクフォームルーフを使用。
(小屋裏部屋・ロフト・吹き抜け部など)



- ②小屋裏部屋等がない場合でも、天井断熱の代わりとして、屋根面にフクフォームルーフを使用。



- ③遮熱用(夏場の防暑対策)として、屋根面にフクフォームルーフを使用。

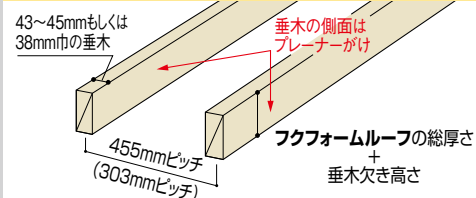


■下地条件

- 屋根垂木ピッチは455mmもしくは303mmとし、垂木巾は43~45mmもしくは38mmとしてください。
- 垂木の側面はプレーナーがけを施して、なるべく平滑な状態にしてください。



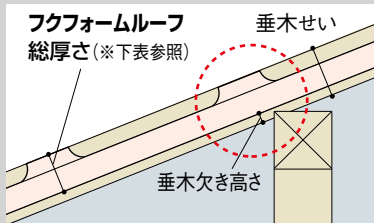
注意 ●垂木側面が平滑でないと(ささくれた状態だと)フクフォームルーフがスムーズに充填できません。



- 垂木せい(高さ)はフクフォームルーフの総厚さ+垂木欠き高さとしてください。
(※例: 垂木巾43~45×高さ90mm、垂木巾43~45×高さ105mm、垂木巾38×高さ89mm等)

■フクフォームルーフ総厚さ一覧表

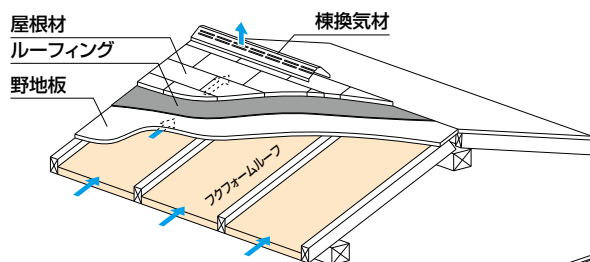
	0845型	1245型	1545型	1845型
総厚さ	70mm	85mm	100mm	117mm



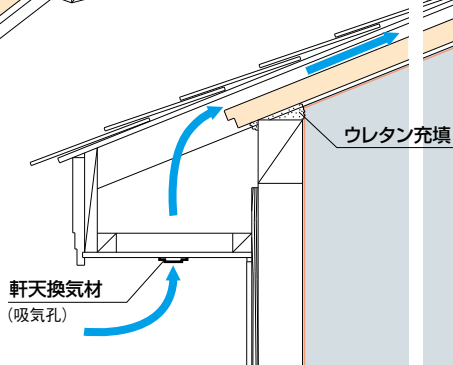
注意 ●フクフォームルーフが母屋に当たらないように、垂木せいを設定してください。

■参考納まり図

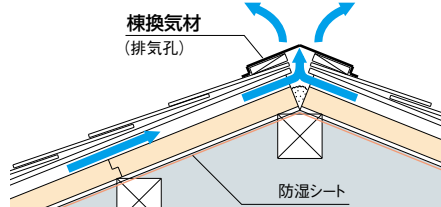
●イメージ図



●屋外側から見た様子



●換気経路



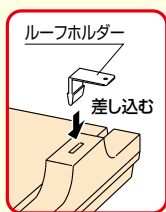
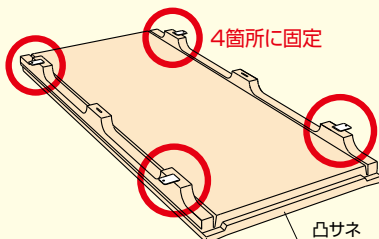
●室内側から見た様子



■施工要領

■施工手順

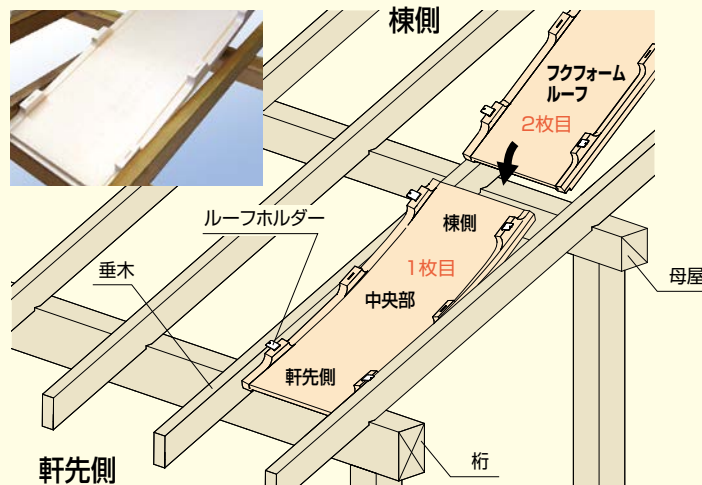
- ①フクフォームルーフにルーフホルダーを差し込んで固定してください。



- ②垂木との密着性を高めるため、若干強めの充填設定になっています。このとき、フクフォームルーフを一度に充填しようとせず、右図のように軒先側・中央部・棟側の順で徐々に充填してください。



- 手でスリットを閉めながら、軒先側から部分的に充填していくとスムーズに納まります。

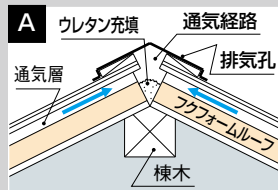


■ 通気経路を確保するために

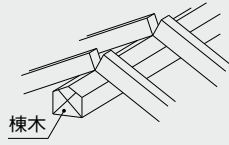
- 通気を行うために、軒側に吸気孔、かつ棟側に排気孔を必ず設けてください。
- 吸気孔から排気孔まで、通気層が連続してつながるようにしてください。

⚠ 注意 ● 通気層がつながっていないと、通気層内で空気がよどみ、結露が発生することがありますのでご注意ください。

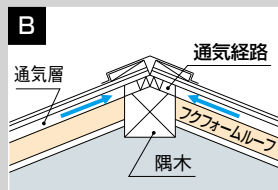
大棟部



● 通気経路を確保します。



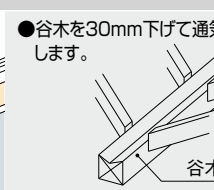
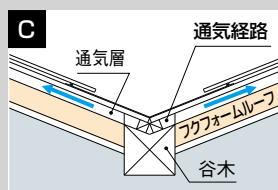
隅棟部(寄棟屋根の場合)



● 隅木を30mm下げて通気経路を確保します。



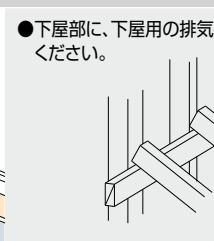
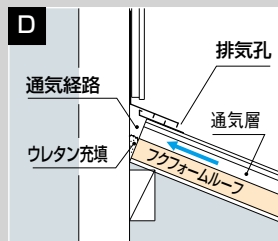
谷部



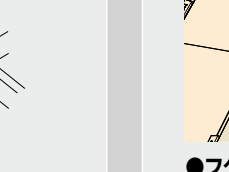
● 谷木を30mm下げて通気経路を確保します。



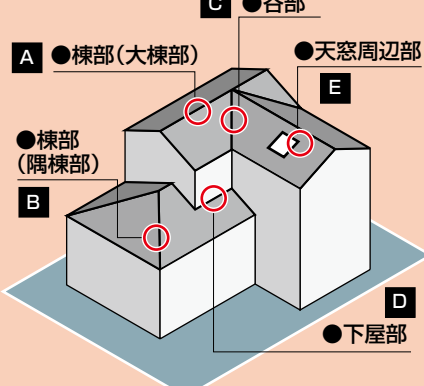
下屋部



● 下屋部に、下屋用の排気孔を必ず設けてください。

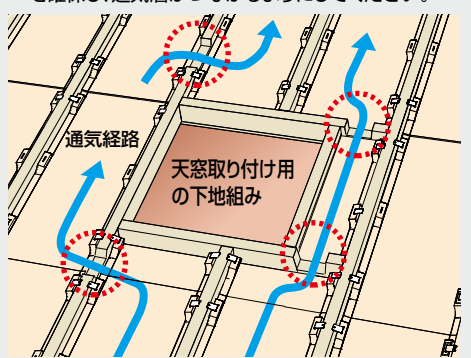


■ 施工部位



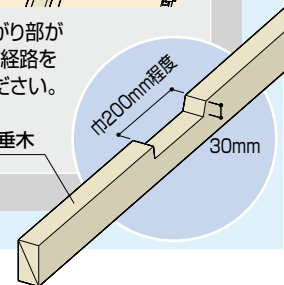
E 天窓周辺部(例)

● 天窓下地や垂木を下图のように切り欠いて、通気経路を確保し、通気層がつながるようにしてください。

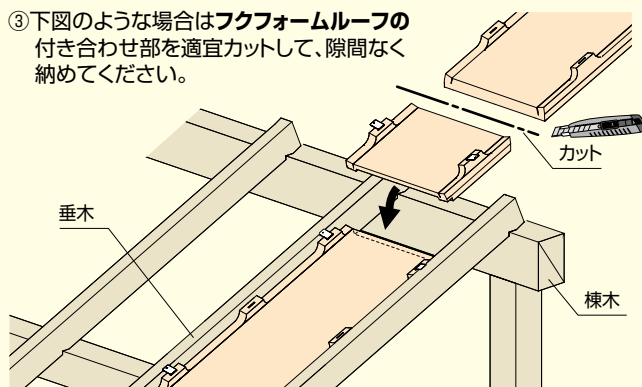


● フクフォームルーフの立ち上がり部が切り欠き部を遮る場合は、通気経路をふさがないようにカットしてください。

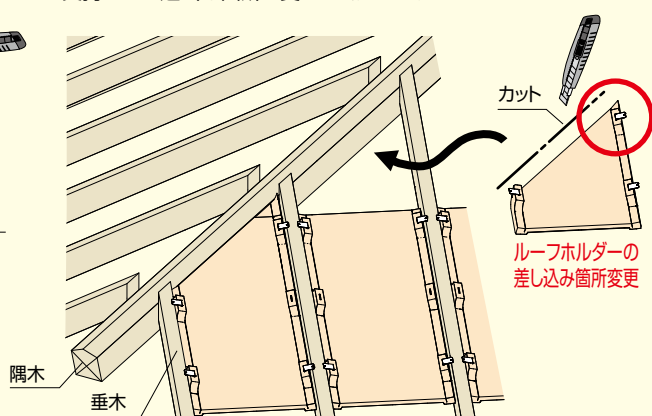
天窓下地および垂木



③ 下図のような場合はフクフォームルーフの付き合わせ部を適宜カットして、隙間なく納めてください。

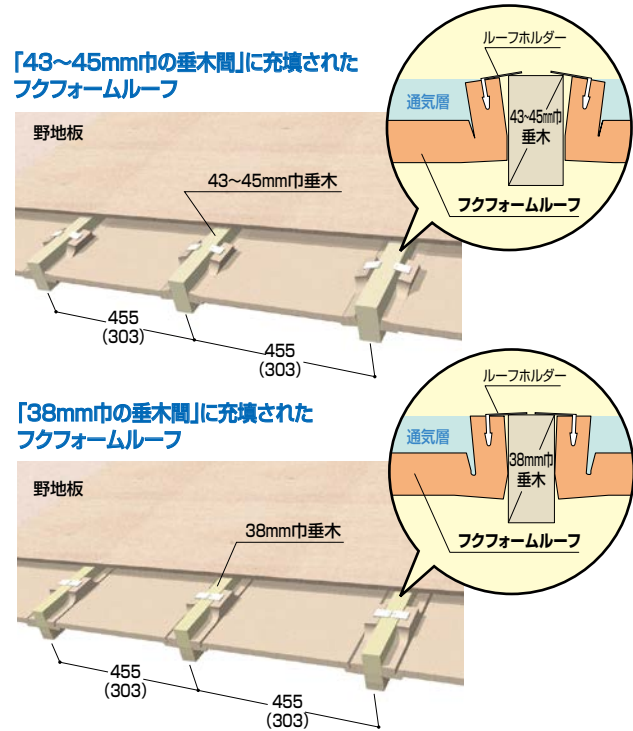
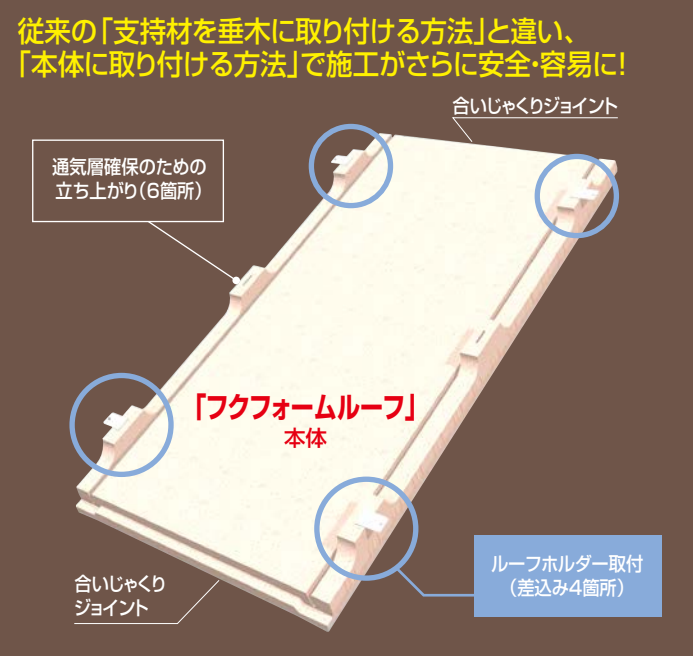


※ 隅棟部・谷部へは、適宜カットして隙間なく納めてください。その際、ルーフホルダーの差し込みをフクフォームルーフを支持できる適当な箇所に変えてください。



⚠ 注意 ● 施工後、フクフォームルーフの上に乗ったり、重量物を載せると、フクフォームルーフが割れて落下する危険性がありますのでご注意ください。

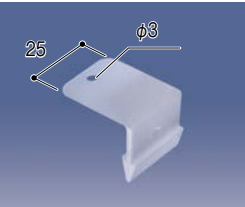
1つの型で「43～45mm巾の垂木間」にも、「38mm巾の垂木間」にも、
カットなしで対応できる！



■フクフォームルーフ仕様

タイプ	納まり寸法 (mm)		コード	カラー	単品価格	梱包内容	熱抵抗値 (m ² ・K / W)
	43～45mm巾の垂木	38mm巾の垂木					
0845型			FFR0845	オレンジ	¥4,400 / 坪 (8枚)	1坪入 (8枚)	0.87
1245型			FFR1245	オレンジ	¥6,200 / 坪 (8枚)	1坪入 (8枚)	1.20
1545型			FFR1545	オレンジ	¥7,600 / 坪 (8枚)	1坪入 (8枚)	1.50
1845型			FFR1845	オレンジ	¥9,800 / 坪 (8枚)	1坪入 (8枚)	1.83

※熱抵抗値:旧(財)建材試験センターでの測定結果より



■別売部材(フクフォームルーフ専用支持材)

※材質:ポリプロピレン

呼 称	コード	カラー	単品価格	梱包内容	バラ出荷対応
ルーフホルダー	RH	ホワイト	¥19 / 個	5,600個 (1袋=32個入)	32個単位

※ルーフホルダーは、フクフォーム全タイプ共通の専用支持材です。
※フクフォームルーフ1枚あたり、ルーフホルダー4個を使用目安としてください。

※ご注に関する注意事項 の色が付いた商品はバラ出荷対応いたします。ただし、1オーダーに正梱が含まれている場合についても梱包手数料として、¥2,000別途申し受けます。

⚠️ 注意 フクフォームルーフは、ポリスチレンの発泡体です。ご使用にあたっては下記事項にご注意ください。

- 長時間、直射日光にあてると劣化の原因になります。保管する際は充分ご注意ください。また、施工の際もすみやかに仕上げ施工を行う等、配慮してください。
- 難燃剤を加えていますが、不燃材ではありません。火に近付けないようご注意ください。
- 廃棄する場合は、各地域の廃棄物処理指針に従って処理してください。
- 大部分の有機溶剤、石油類には侵されますので、施工する際、薬剤・接着剤・塗料には充分ご注意ください。
- 溶剤に侵されますので、木材防腐剤を使用する場合は、完全に乾燥してからフクフォームルーフを施工してください。
- フクフォームルーフ専用のルーフホルダーを利用して落下を防いでください。
- 施工後、フクフォームルーフの上に乗ったり重量物を載せると、フクフォームルーフが割れて落下する危険性がありますのでご注意ください。

■フクフォームルーフ 各地域の左欄は必要な熱抵抗値 (m²・K/W)、右欄はフクフォームルーフの種類です。

■【在来軸組工法および枠組壁工法(充填断熱)】

省エネルギー 告示名称	住宅金融支援機構の 「フラット35」における 断熱構造基準	性能表示 基準	部 位	断熱性能 [m ² ・K/W]									
				平成25年基準	1・2地域	平成25年基準	3地域	平成25年基準	4地域	平成25年基準	5・6地域	平成25年基準	7地域
				平成11年基準	I地域	平成11年基準	II地域	平成11年基準	III地域	平成11年基準	IV地域	平成11年基準	V地域
				熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ	熱抵抗値	フクフォームルーフ
昭和55年告示 (旧省エネ基準)	フラット35	等級2	屋根 または 天井	大壁造 2.7 真壁造(天井) 3.1	—	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型	0.8	0845型	0.5	0845型
平成4年告示 (新省エネ基準)	フラット35	等級3	屋根 または 天井	4.3	—	1.7	1845型	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型	1.2	1245型 1545型
平成11年告示 (平成25年告示附則)	フラット35S	等級4	屋根 天井	6.6 5.7	— —	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —	4.6 4.0	— —

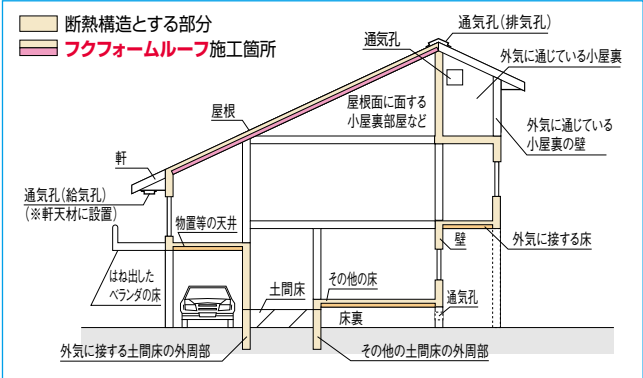
※「ツーバイフォー工法」の場合の熱抵抗値を表します。Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ地域における省エネ一般型気密以外住宅に必要な熱抵抗値は(1.5) [m²・K/W]。それ以外は在来軸組工法と同じ熱抵抗値。

■地域区分

平成25年基準	平成11年基準	
1・2地域	I地域	北海道
3地域	II地域	青森県 岩手県 秋田県
4地域	III地域	宮城県 山形県 福島県 栃木県 新潟県 長野県
5・6地域	IV地域	茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 富山県 石川県 福井県 山梨県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県
7地域	V地域	宮崎県 鹿児島県

地域区分は市町村レベル
※詳細は住宅金融支援機構監修の「木造住宅工事仕様書」をご参照ください。

■断熱構造とする部分とフクフォームルーフの施工箇所



■フクフォームルーフ製品図 S=1/20

●0845型

A-A'断面図

●1245型

A-A'断面図

●1545型

A-A'断面図

●1845型

A-A'断面図

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。価格に消費税は含まれていません。

●お問合せ



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332
札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400
西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832
北陸 ☎(0776)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315
岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)822-2301
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1943-2112

2018年7月価格改定版

<https://www.fukuvi.co.jp> [PDF01601] 2018. 7 ①